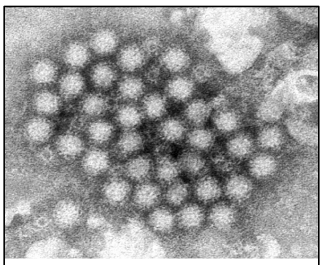
山口県感染症発生週報 （第51週：平成24年12月17日～12月23日）

1 全数把握感染症

【2類感染症】
◆結核： 第50週追加：2例（周南、宇部）。　第51週：2例（柳井、周南）。


ノロウイルス　CDC/ Charles D. Humphrey

2 定点把握感染症（5類感染症）

(1)特記事項

◆インフルエンザ： 報告数は先週とほぼ同程度で52例でした。定点当たり報告数は0.75で、流行開始の目安となる定点当たり1.0に近い状況です。 地域別では特に宇部、防府からの報告が目立ちます。迅速検査では、A型42例、B型4例（岩国3、宇部1）、その他（不明、陰性含む）6例でした。また当所で、第51週の検体についてPCR検査を行った結果、AH3(香港型）が2例検出されています。例年冬季に流行しますので、今後の動向に注意が必要です。
◆RSウイルス感染症： 例年冬期に流行がみられますが、今年はかなり早い時期から流行しています。報告数は先週とほぼ同程度でした。乳幼児を中心に引き続き注意が必要です。
◆咽頭結膜熱： 防府、長門、萩はやや多くみられます。【警報レベル＝長門（4週目）】※
◆A群溶血性レンサ球菌咽頭炎： 例年の同時期と比較してやや多い状況です。【警報レベル＝山口（12週目）】※
◆感染性胃腸炎： 第45週（11/5～11/11)以降急増し、第49週に警報開始基準値の20を上回り、山口県は12月13日に流行発生警報を発令しています。 県内のほぼ全域で流行しています。 特にノロウイルスを原因とする感染性胃腸炎が流行していますので、注意が必要です。
【警報レベル＝周南（5週目）、萩（3週目）、長門（6週目）、下関(3週目）、山口（4週目）、】※
◆水痘： 第44週（10/29～11/4）以降急増しています。 防府は引き続き、長門は再び注意報レベルとなっています。 12月から7月にかけて多くみられる疾患ですので、注意が必要です。
【注意報レベル＝長門（新）、防府（3週目）】※

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。
http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2012/keihotyuuiho.php

(2)週別発生状況

疾患名	49週	50週	51週	疾患名	49週	50週	51週
インフルエンザ	22	58	52	百日咳	0	0	0
RSウイルス感染症	55	98	89	ヘルパンギーナ	5	8	5
咽頭結膜熱	31	26	32	流行性耳下腺炎	11	10	17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	172	197	184	急性出血性結膜炎	0	0	1
感染性胃腸炎	1128	986	947	流行性角結膜炎	5	5	4
水痘	104	119	134	クラミジア肺炎	1	0	0
手足口病	10	10	5	細菌性髄膜炎	0	0	0
伝染性紅斑	3	6	0	マイコプラズマ肺炎	4	7	4
突発性発しん	45	39	24	無菌性髄膜炎	0	0	0

(3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	10	5	1	0	7	3	25	1	0	52
RSウイルス感染症	22	8	3	6	7	3	16	22	2	89
咽頭結膜熱	8	4	0	4	6	4	0	3	3	32
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	45	8	1	37	6	59	20	3	5	184
感染性胃腸炎	224	71	21	255	35	110	131	49	51	947
水痘	21	9	2	26	19	18	21	12	6	134
手足口病	3	0	0	1	0	0	1	0	0	5
伝染性紅斑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
突発性発しん	3	2	1	4	2	6	4	0	2	24
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	2	0	0	2	0	0	1	0	0	5
流行性耳下腺炎	1	1	6	8	0	1	0	0	0	17
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
流行性角結膜炎	2	0	1	0	0	1	0	0	0	4
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	1	0	1	0	0	0	2	0	4
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3 その他

・アデノウイルス急性咽頭扁桃炎の報告が多くみられます。

山口県感染症情報センター（山口県環境保健センター内）
電話：083-922-7630　FAX：083-922-7632
http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/